

# いきいき通信

第70号(2025年1月発行)

発行：寺沢さゆり後援会

〒381-0057 長野市浅川西条406-38

TEL / FAX 026-295-0585

HP : <http://www.terasawa-sayuri.net/>

E-mail : iki-iki@mbr.nifty.com

～人と人のつながりを大切にします～

## 寺沢さゆり 後援会会報

### いきいき通信 第70号の内容

- 寺沢さゆりから後援会の皆様へ新年のごあいさつ
- 情報交換会のお知らせ
- 能登半島地震 被災地ボランティア報告
- 12月定例議会から
- 市による補助金等の状況
- 議会で代表質問をしました
- 議会と市民の意見交換会
- 国会への要望活動



## 寺沢さゆりから後援会の皆様へ

# 2025

本年も引き続きよろしくお願いたします。昨年のお正月は元日から地震に見舞われ、大変な状況でありました。今年は災害のない良い年となることを切に願っています。12月議会では会派の代表として質問をさせていただきました。長野市の財政状況は、令和5年度の決算では黒字ではありませんでしたが、オリンピック施設を始め小中学校の長寿命化やR10年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けての施設整備など、令和7年度以降財源不足が生じる見込みです。また、「年収の壁」見直しに伴っての市税の減収が見込まれ、大変厳しい財政状況が続くことが予想されています。これからも皆様に状況をお知らせするとともに厳しい状況を打開するためにも一緒に考えていただきたいと思います。

昨年の2月から能登半島地震で甚大な被害を受けた珠洲市に毎月ボランティアに伺っています。その中で様々な出会いがあり、仮設住宅にお住いの皆さんとも毎回交流させていただいています。1月の地震に続き9月の豪雨災害などまだまだ被災された皆さんはつらい

日々を過ごしています。今年も出来る限り支援をしていきたいと考えておりますし、被災地の現状も皆さんにお知らせしていきたいと考えています。

私が委員長を務めている福祉環境委員会の所管事項では、4月から「長野市手話言語条例」、「こどもの福祉医療費窓口無料化」、「加齢性難聴者の補聴器購入補助制度」の創設などが予定されています。より良いものになるよう努力していきます。

今年も市民のみなさんが安心して安全に心穏やかに暮らしていかれまますよう努力してまいりますので引き続きご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

### お知らせ

#### ～ 情報交換会を開催します ～

日時：令和7年1月26日(日) 16時から

場所：油や 会費：5,000円



◇参加ご希望の方は1月18日(出)までにお申し込みください。

## 能登半島地震 被災地ボランティア報告 ～珠洲市で続く「ほっこりカフェ」～

2月から毎月1回珠洲市にホッと一息「ほっこりカフェ」を開催しに伺っています。9月に伺ったときは豪雨災害に遭う3日前で「8か月が過ぎようやく少し落ち着いてきました」と伺ったばかりでしたが、その後の10月では豪雨災害に遭い「もう立ち直れない」「もうここには戻って来れない」と辛そうな表情でお話された方が何人もいらっしゃいました。11月に入り寒さが増してくる中でねこはんてんをお届けしたところ、皆さん口々に「きのどくな」とおっしゃられ、どうしてなんだろう?と聞いていましたが能登の方言で「気を使っていたいてありがとう」という意味だと教えていただき納得しました。後日とても暖かいと喜びの言葉をいただき嬉しかったです。また、いつも伺っている直小学校的仮設住宅だけでなく、別の仮設住宅でもなかなか高齢者の方が外に出てきてくれないのでぜひ集会所で「ほっこりカフェ」をやって欲しいというご要望をいただきました。被災された皆さんの少しでもお力になれるよう、これからも続けていこうと思っています。



他の場所で開催の要望もある「ほっこりカフェ」

# 12月定例議会から ~新婚新生活支援事業補助金などを決定~

11月28日から12月16日まで19日間の日程で開催されました。初日に会計年度任用職員勤勉手当の支給等に伴う経費約128百万円を始めとして、第二庁舎空調設備改修事業に約116百万円、バスICカードくるるにSuicaを導入した地域連携ICカードに変更するための経費約197百万円、新婚新生活支援事業補助金約34百万円などが決定しました。

また、令和7年に開催される大阪・関西万博での「地方創生SDGsフェス」に期間は短いですが出展することとなりました。川中島の豊かな自然環境が育む川中島白桃を象徴とし、持続可能な農業と自然保全への関心を喚起する効果を期待しています。



聴覚障害者の皆さんも傍聴に来て下さいました

## 議会で代表質問をしました!

残り任期1年となった荻原市長がどのような思いを持って重点施策を展開していくのか。また、今後厳しい財政状況が予想されるがそのような中での令和7年度当初予算編成はなど会派を代表して18項目にわたり市政全般について質問しました。



代表質問をしました

**市長は、**残りの任期を全力で走り切る飛躍の年としたいとし、**新年度予算は、**令和5年度の決算では37億円の実質収支で、健全財政を維持できたが今後社会保障関係経費の増加、人件費の大幅な増加、公共施設の長寿命化対策、国民スポーツ大会に向けた施設整備、公債費の増加など、毎年20億円から60億円程度の不足が見込まれ、非常に厳しい財政運営が予想されている。また、国での年収の壁の見直しは本市財政に非常に大きな影響がある。そんな中でも健全財政を引き続き維持できるよう、メリ張りの利いた予算編成となるよう取り組むと答弁されました。

**能登半島地震への対応では、**被災地ではまだまだ支援が必要ということで派遣職員の増員も含め検討する。また、前から要望している移動式トイレの導入も検討するとされました。**健康づくりとまちづくりでは、**行政・市民に企業を加えての公共緑化事業として1企業1花壇事業の導入や、城山公園駐車場の高齢者割引について導入に向けて検討するとの答弁がありました。

**保育園等の園庭の芝生化については、**モデル的な事業実施を検討する。

**小規模工事の随意契約上限額の引き上げについては、**上限額及び諸経費率を見直し、令和7年4月の施行を目指しているとの答弁に、地方自治法の上限130万円までの引き上げを重ねて要望しました。

**長野市の不登校の状況と支援策は、**令和5年度の長野市立小・中学校の不登校児童・生徒数は1168人で令和4年度から359人増加。支援が届きにくい子どもたちもいるため専門の支援員が家庭訪問する訪問型アウトリーチ支援を検討するとの答弁でした。

## 市による補助金等の状況

### <移住支援金>

- 東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)、愛知県、大阪府から長野市へ移住し、就業又は創業した人への支援金
- 支援額: 単身60万円、世帯100万円 (子一人につき100万円の加算あり)



### <新婚新生活支援事業補助金>

- 新婚世帯に対する住宅の取得、リフォーム、家賃、引越費用等への補助金
- 対象者: 令和6年1月1日~令和7年1月31日に婚姻した夫婦で39歳以下の世帯かつ夫婦の合計所得500万円未満の世帯
- 補助額: 夫婦ともに39歳以下30万円、29歳以下60万円



## 議会と市民の意見交換会

前回の市議会議員選挙の投票率が過去最低だったことを受け、まずは私たち市議会議員を知ってもらうことから始めようと今年度は市立長野高校と清泉女学院のみなさんとワールドカフェ形式で意見交換を行いました。居場所や公共交通についてなど直接様々なご意見をいただくことができ、生徒や学生の皆さんからは、「議員を身近に感じた」とか「思っていたことが話せてよかった」「またやって欲しい」などの感想をいただきました。今回の反省点も踏まえ来年の開催に向けまた準備を進めていきます。



今回は高校生との意見交換

## 国への要望活動 ~喫緊の課題に支援を~

国の来年度の予算に反映してもらおうと会派で予算要望活動を行いました。要望先は農林水産省、子ども家庭庁、国土交通省、文部科学省、林野庁。令和10年に長野で予定されている国民スポーツ大会の施設整備に対する継続支援や国道18号長野東バイパスの立体化整備の促進、上下水道事業の耐震化に対する支援の拡充、長野駅前B-1地区市街地再開発事業に対する支援など、どれも長野市にとって喫緊の課題に対して支援の要望をしました。国の支援をいただきながら着実に事業が進むことを切に願っています。



国の諸省庁に要望しました

